

瀬戸内タウンミーティング（牛窓地区）

平成 21 年 10 月 13 日（火）19 時～21 時

牛窓町公民館 3 階 大会議室

参加者：男性 22 人、女性 2 人、計 24 人

市民から出た意見と市長の反応

・人口推計の根拠は？

（市長）小学校区ごとに出生率、死亡率、引っ越していく人と引っ越してくる人の割合を求めて積み上げたものが推計である。今のまま何もしなければ推計のように減少していくという意味である。厳しい状況であるが、これを何とかしたいと考えている。

- ・合併して、特に牛窓にとって具体的なメリットがあったか？議員の給料が上がっただけではないか。また、警察署が牛窓にあるが、他の地域に持っていかれたら困る。例えば、警察の職員が地域で柔道を教えるなどの地域貢献ができればいいのでは。

（市長）合併したことで心理的に市役所との距離が遠くなっているように思う。ただ、病院を考えたときに牛窓の人からしたら不便になったとしか思えないが、市財政を考えたときにはプラスに働いている部分がある。警察職員による地域貢献については、県の所管になるため私の一存でやりますとは言えないが、警察と話をしてみたいと思う。

- ・「人」を基本に構想を作っているのはわかるが、財源について切り込んでいく必要があると思う。（例：議員が市人口に対して多いことなど。）

（市長）財政問題を「人」という視点で捉えた場合、「将来の市民」という分類ができると思う。盛り込んでいきたい。

- ・前島フェリーについて、年間約 6 万人が前島を訪れているが、フェリーの運営は厳しい。自然を生かしたイベントや香川県直島町が取り組んでいる海の駅など、訪問者を増やす観光への取り組みを進めて欲しい。（かつて前島フェスティバルをやって訪問者があったが、スタッフの高齢化のため、8 年前に止めている）恒久的な場の提供が必要と感じている。

（市長）来年開催予定の瀬戸内国際芸術祭に前島も絡んでいきたいと考えている。

- ・「安心して適切な介護・医療が受けられるまち」そのとおりだと思う。他の自治体で 75 歳以上の医療費個人負担を無料にしているところがあると聞いたが、早期発見・早期治療につながり、その自治体の医療費公費負担が県内で最も低くなったという事例があったと聞いた。瀬戸内市でもできないだろうか。
- ・牛窓は JR も無い、交通の便も悪い、高齢化率も高いため、車が無くてどこでもいけるまちの実現に向けて頑張っ欲しい。

(市長) 費用面と、見えにくいがお金で測れない効果について検討を進めているところ。もう少し考える時間が欲しい。

- ・事業仕分けと外部評価の強化をして欲しい。

(市長) 外部評価については現在実施している。事業仕分けはやっていないが、他の自治体では市民に事業実施の可否を判断させているような（事業仕分けの）事例がある。市役所が主体的に無駄をなくすことをやりたいと考えている。また事業の一つ一つを見るのではなく、目的に対して行う事業の組み合わせで考えていきたい。

- ・備前ブロックでの広域ごみ処理の枠組みから備前市が脱退を表明したと新聞で読んだ。瀬戸内市はどうするのか。またクリーンセンターかもめでの処理はできないか。

(市長) 議会への説明がまだであること、瀬戸内市だけでどうにかできる問題ではないため、慎重に考えているところ。長船のごみをかもめで処理することを考えると、炉の改造などが必要になる。またざっくりした数字で 3 割、ごみの量をリサイクルなどで削減してもらう必要がある。費用面とのバランスも考えなくてはならない。

- ・雑がみのリサイクルなどを推進してごみの減量化は図れないか。3 割の達成も不可能ではないと考える。

(市長) 雑がみのリサイクルも手法の一つと考えている。あとは生ごみと事業系一般廃棄物が量として多い。分別のお願いをすることは市民にとって負担になるため、理解を得られるよう努力したい。

- ・人間が減るのにごみは減らないのか？

(市長) ごみを減らすための努力も必要と考えている。災害などの不慮の事態や炉の故障などへの対応も考慮しないといけないため、ごみ減量はできる限りやっていきたい。

- ・防災（高潮、地震など）、耕作放棄地、観光（横の連携）、人口減少を防ぐた

めに移住者を増やす手立てなどを議論する場が欲しい。特に観光はPRが不足していると感じている。

例：JR 岡山駅に観光パンフレットが無い、岡山空港の観光コルトンの写真が違う

(市長) 議論する場についてはぜひやりたいと考えている。こうしてひざを交えて話し合うことが必要と感じている。

防災については民主党政権になったが、公共事業の必要性を訴えていきたい。耕作放棄地については来年度から補助事業による対策に取り組む予定にしている。観光の横の連携についてはぜひやりたい。旅行を考えている人に瀬戸内市を旅行先に決めてもらうためのPR媒体、方法について考えていきたい。人口減少については空き家対策など県が進めている事業もあるが、借りたい人と家主のマッチングの機会を提供していきたい。

- ・ 合併の際に火葬場を牛窓町の者以外に使用させないという約束をしていたが、邑久や長船の人にも使えるように改修してはどうか。

- ・ 長島愛生園、邑久光明園は将来人がいなくなる。跡地利用として身寄りが無い、金が無い人のための老人ホームや、刑務所としての活用ができないか。

(市長) 検討委員会を立ち上げているが、まだ具体的な方針が無い。国の責任においてやるべきことを考えていただけたらと思っている。

- ・ 4月に「病と介護を考える会」を立ち上げて勉強会をしている。320世帯を対象にアンケートを行ったところ、70歳を境に市外の病院にかかる人と市民病院にかかる人とわかれてくる。医療機関に受診することが困難な高齢者のためにも診療所、市民病院の存続をお願いしたい。

(市長) アンケートの内容は興味深い。ハコモノとしての病院の是非ではなく、どんな医療機能・サービスを求めているのかが知りたい。そしてそれに合わせた医療サービスの提供を役所がやるかどうかも含めて考えていきたい。そのためにアンケートを実施することを考えている。現在の病院は耐震構造でないこと、工事にあたっては合併特例債を使うことを考えているが、特例債が使える期限が迫っていることから今年中に方向性を出したいと思っている。

- ・ 伝統行事がやりにくくなってきている。もっと地域の文化を大切にしていだきたい。

(市長) 地域文化を継承させることは重要と思っているので、やり方を考えてい。あわせて、市が支出している補助金(総額5億数千万円)についての

出し方を工夫して地域文化を支援していく方法を考えたい。

- ・人口減少の理由と食い止めるために必要なものは何か。
- ・「これは〇〇の部署ですから私は知りません」などといった「お役所仕事」の排除をして欲しい。

(市長) 人口減少を食い止めるためには、働き口、医療、教育、交通の4つを充実させることが必要と考えている。全てをまとめて「定住化」と言える。それぞれ所管が違うため、縦割りではできない。一緒に考えてもらうために「戦略会議」を設置し、外部の研究者を招いて政策、施策としてまとめていきたいと考えている。また、同じ目的に対して各課がばらばらに予算を要求してきているため、これについても課をまたいで調整するようにして、無駄を省いていきたい。

- ・このような会を年1回くらいでよいのでまた開いて欲しい。またその際に今日出た意見について結果報告をして欲しい。

(市長) 今日の意見のまとめ、アンケート結果については行政委員さんを通じて回覧させていただくこととしている。またこのような会についてはこれからもぜひやりたいと考えている。